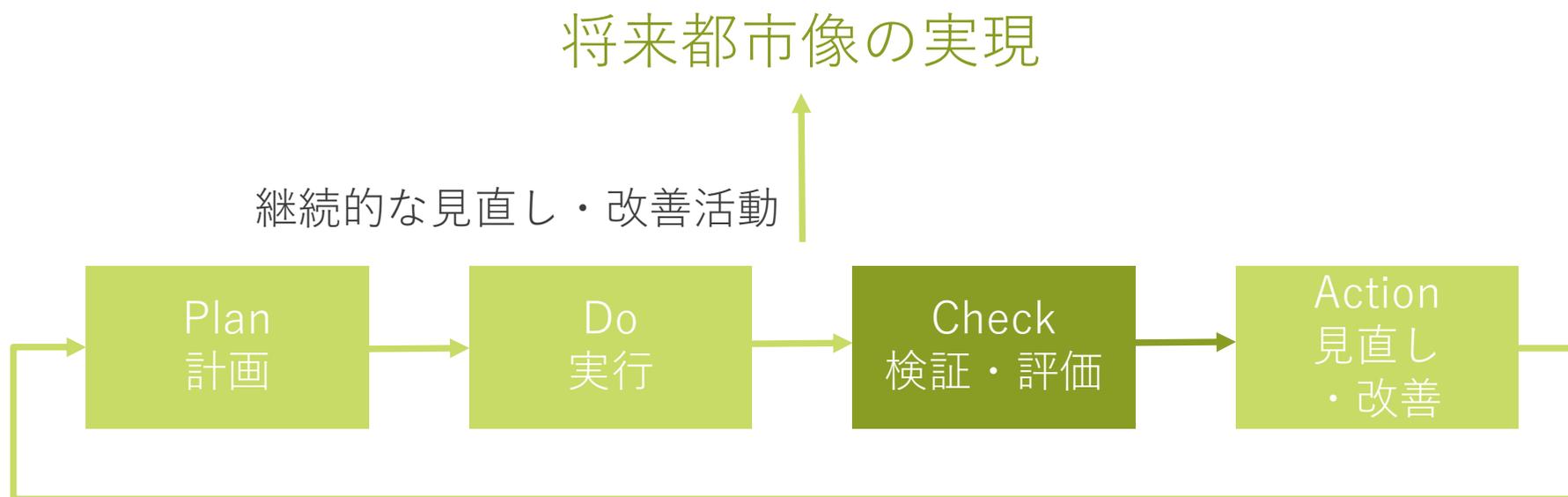


資料 2

次期総合振興計画 成果指標設定の考え方（案）

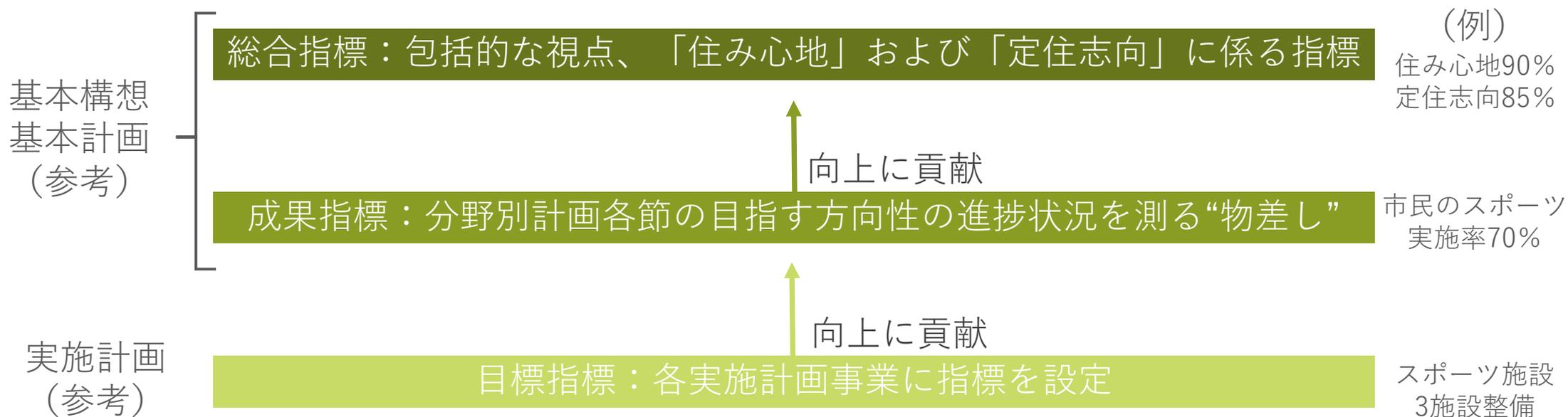
都市経営戦略部
平成31年5月10日

1 指標設定の目的01



現総合振興計画では計画の進行管理として、将来都市像の実現に向け、PDCAサイクルによる継続的な見直し・改善活動を行うこととしています。現在、基本構想・基本計画に総合指標と成果指標、実施計画に目標指標を設定し、計画の検証・評価に活用しています。

1 指標設定の目的02（指標体系・内容）



総合指標は、包括的な視点から「住み心地」および「定住志向」に係る指標を掲げています。

成果指標は、各施策の効果的かつ効率的な展開を図るために、事業の拡大や見直し、新たな企画立案、限られた経営資源（人材、財源等）の配分検討等に活用するための“物差し”として設定しています（現総合振興計画より）。

目標指標は、**各実施計画事業**の到達点の実現を測るものとして設定しています。

次期総合振興計画においても、同様の趣旨で、各指標を設定したいと考えています。

2 次期総合振興計画の指標設定

(設定の順序)

Step1

総合指標：総合振興計画の最終アウトカム

「住みやすいと感じる市民の割合」
「住み続けたいと感じる市民の割合」を設定

Step2

成果指標：最終アウトカムに貢献する、施策展開の目標（アウトカム）

※責任の主体（局レベル）を明確に。

Step3

目標指標：成果指標に貢献する実施計画事業の目標（アウトプット指標とアウトカム指標）

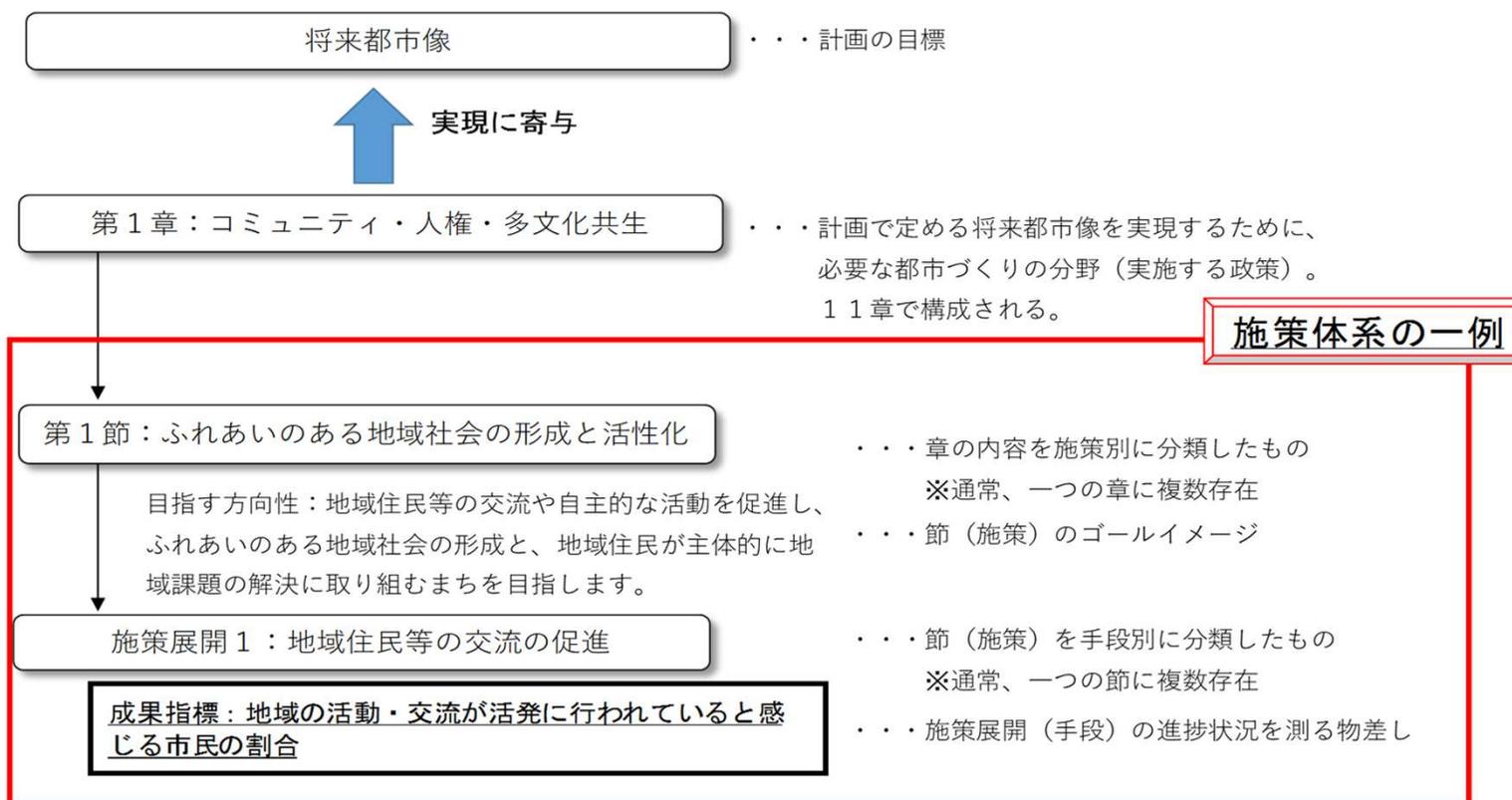
次期総合振興計画における指標設定の手順は、①総合振興計画の最終アウトカムである総合指標を決定し、②総合指標に貢献する各施策展開ごとの成果指標を決定します。③その後、成果指標に貢献する実施計画事業ごとの目標指標を決定します。

成果指標のマネジメントの主体（局レベル）を明確に、すべての施策展開に成果指標を設定します。

各分野別計画（各章）の中の構造

各分野別計画（各章）の中は、章（政策）の内容を施策別に分類した「節（施策）」、「節（施策）」が描いているゴールイメージである「目指す方向性」、「節（施策）」を手段で分けた「施策展開」、「施策展開」の進捗状況を測る「成果指標」で構成されます。

【次期総合振興計画における分野別計画（章）の構造】



3 成果指標設定の考え方について

成果指標

- ①原則、行政の活動実績を表す指標ではなく、施策展開の成果を測る指標にする。
- ②施策展開との因果関係が明確な成果指標を設定する。
- ③「施策展開」ごとに成果指標を設定する。
- ④原則、客観的な指標（例：成人の週1回以上のスポーツ実施率）を設定するが、難しい場合は、主観的な指標（例：「スポーツが盛んなまち」とイメージする市民の割合）も設定可とする。
- ⑤他の要素や偶然性で左右されにくい（市以外の施策、天候、景気等で数値が変動しない）成果指標を設定する。
- ⑥原則、毎年測定可能な成果指標を設定する。

成果指標と組織の連動

成果指標のマネジメントを徹底するため、施策展開ごとにマネジメント局を設定する。



責任主体を明確にすることで、成果指標と組織との連動を図る。